

第1章 事業概要

| | |
|----------------------------|----|
| 1-1. 沖縄市(水道)の概要 | 7 |
| 1-2. 平成30年度事業概要 | 10 |
| 1-3. 水道事業の推移 | 12 |
| 1-4. 水道料金・加入金の変遷 | 14 |

1-1. 沖縄市(水道)の概要

沖縄市のあらまし

沖縄市は沖縄本島のほぼ中央部に位置し、人口14万人を有する中部地域の中心都市であり、本島南北圏域への交通結節点として、重要な役割を果たしている。市域面積49km²のうち約34.5%の17km²を米軍基地が占める本市は、戦後広大な嘉手納基地を背景に基地の門前町として基地経済に支えられ、急速な発展を遂げてきたまちである。

水道事業のあゆみ

沖縄市水道事業は沖縄戦終結から13年後に開始し、通水に至るまで実に4年間の胎動を経た。創設当初、米軍の水道政策など幾多の困難を経て、今日まで60年余の歴史を歩んできたが、その間、多くの先人達の労苦があり、これを抜きにしては本市水道事業を語ることはできない。



通水式・1958年(昭和33年)6月19日

(米軍送水管とコザ市配水管との接続工事が完了し、通水式が行われた。沖縄市水道通水1日目となる。通水式は、バージャー民政官の指揮のもと執り行われ、音楽隊やラジオ放送など進行は米軍主導で行われた。場所は一番街前胡屋バス停付近。)

上水道が布設される以前は、集落の井泉や個人所有の井戸水のほか、個人経営の簡易水道、米軍の公用共同栓に依存していた。



泡瀬カーヌ毛:井戸を利用する人々(泡瀬復興期成会提供)

旧コザ市では1958年8月のセンター区への給水を皮切りに、1961年8月の八重島区への給水開始で、市内全域への給水体制が整い、旧美里村は1963年1月の吉原・宮里・大里地域での給水開始に水道事業の大きな飛躍が期待された。

当時の給水装置工事は、手押しのリヤカーに鉛管や穿孔機を積み込んでの移動で、道路の掘削もツルハシやスコップ等を用いての作業は過酷を極めた。



配水管布設工事(八重島)



給水装置工事(上地)

当時の水道工事の様子(1959年)

旧コザ市では各地域への給水工事に並行して分岐点を次々に新設し、増加する水需要に対応していた。水道普及率が50%を超えた1963年5月、72年ぶりの大干ばつでは、延べ206日に及ぶ給水制限を実施し、米軍基地から市民への給水が行われた。



照屋地域への給水の様子(1963年)

(当時のコザ市は、緊急給水用として米軍車両を借用し、瑞慶覧基地から飲料水を各地域に給水した。)

1967年7月、水道事業に市町村公営企業法を適用し、独立採算企業として運営を開始。1968年11月には現市役所隣接地に庁舎を移し業務を開始した。



初代水道庁舎

1974年4月1日、旧コザ市と旧美里村の合併により「沖縄市」が誕生し水道事業も引き継いだ。全市的な安定供給が急がれ、配水管網の整理・統合や出水不良地域の解消などのほか簡易水道から上水道への移管も積極的に行った。嘉手納基地への給水問題も1975年7月に解決した。



合併調印式の様子

1981年の長期渇水は“326日の給水制限”となり、多方面に大きな混乱を起こした。こうした問題の解決に配水池（本市初の配水池が1983年完成）やポンプ場施設等の整備を行い、並行して分岐点の統廃合なども行った。また、維持管理業務に、1979年からは専従調査員を配置して漏水防止作業の強化を図ってきた。



長期渇水で干上がった瑞慶山ダム(現倉敷ダム)

1988年6月、通水30年の節目を迎えた。水問題シンポジウム『水ー21世紀へのメッセージ』を開催し、数多くの提言がなされた。1989年2月の給水制限は、4月の全

面給水まで夜間8時間の給水制限や隔日24時間の給水制限がとられた。



沖縄市通水30周年記念式典(沖縄市民会館)・1988年6月

1991年6月に水資源有効利用功労者表彰事業をスタート。通水35周年目の1992年4月には水道部から水道局へ移行した。1994年6月には知花・松本簡易水道が34年間の歴史を閉じ、給水普及率が100%となった。

1996年度からは水道モニター制度がスタートし、1997年には「'97雨水フェアinおきなわ」を開催した。



(「考えよう、活かそう、雨水の有効利用」のテーマで雨水フェア全国大会を沖縄市で行った。雨水の有効利用により水資源確保に努める目的で開催した。)

1998年は通水40周年。記念式典のほか配水池壁面壁画の表彰、記念誌も発刊した。また、これまでの活動(水資源有効利用功労者表彰事業)が評価され沖縄タイムス賞(自治賞)を受賞した。



沖縄市通水40周年記念式典(沖縄市民会館)・1998年6月19日

1999年3月に八重島第2配水池(本市5池目)が完成。これにより渇水や地震等の災害時対応や給水の安定性が更に高まった。2000年8月、1991年以来の水道週間行事「水資源有効利用功労者表彰事業」が評価され、国土庁(当時)水資源功績者表彰を授賞した。



国土庁水資源功績者表彰(東京)2000年8月

2002年、沖縄市美里に新庁舎が完成し3月から業務開始。新時代に相応しい効率的な事業運営と市民サービスの提供に努めている。同年5月には約27年間続いた米軍との基地給水契約を解除し、一般市民と同様の給水事業協定を締結した。同年7月からはコンビニエンスストアでの水道料金の徴収を全国17社に拡大、また昼食時間帯の窓口業務を開始するなど市民サービスの向上に努めている。



新庁舎外観と計装監視室

2007年度は耐震構造の胡屋配水池(本市6池目)を建設し、胡屋・仲宗根町地域での水の安定供給を可能にするとともに、大地震等災害時の応急給水拠点として緊急用水確保が可能になった。

2008年は通水50年の節目を迎える年となり、記念式典・祝賀会を挙行了した。また、需要者へ日頃の感謝を込めて、県内で活躍しているアーティストによる記念コンサートを開催し大好評を博した。



沖縄市通水50周年記念式典(NBCホール)・2008年7月4日

2010年度には、水道分野の国際貢献や島嶼国に、沖縄の水道事業がこれまで培ってきた経験やノウハウを

伝えることを目的として、JICA地域別研修(島嶼における水資源保全管理)が開始された。



JICA地域別研修・2010年8月

2014年には、JICA地域別研修の参加国の1つであるサモア国、およびJICAより要請を受けCEPSO(沖縄連携によるサモア水道公社維持管理協力強化プロジェクト)を開始し、現在までに6名の職員をサモア独立国へ派遣した。



サモア独立国で指導する職員・2014年

2019年には、沖縄市が通水を開始し60年目の節目の年となり、「沖縄市水道通水60周年記念表彰式及び懇親会」を開催した。表彰式では、功労表彰者(2名)、特別表彰者(8名)、個人表彰者(1名)の計11名を表彰した。



沖縄市水道通水60周年記念表彰式及び懇親会・2019年

1-2. 平成30年度事業概要

●業務状況

前年度と比較すると給水戸数、給水人口、ともに増加しました。ただし、年間総給水量は31,270 m³減少、有収水量は65,396 m³減少しています。これにより、給水収益も前年度に比べ4,182,527円減少しております。

| 区分 | 単位 | 平成29年度 | 平成30年度 | 比較増減 | 増減率(%) |
|--------|----------------|---------------|---------------|------------|--------|
| 給水戸数 | 戸 | 61,730 | 62,367 | 637 | 1.03 |
| 給水人口 | 人 | 141,540 | 142,027 | 487 | 0.34 |
| 年間総給水量 | m ³ | 17,904,156 | 17,872,886 | -31,270 | -0.17 |
| 有収水量 | m ³ | 16,944,033 | 16,878,637 | -65,396 | -0.39 |
| 給水収益 | 円 | 3,028,651,256 | 3,024,468,729 | -4,182,527 | -0.14 |

●工事状況

建設改良工事により、安全で安心な水道水を安定的に供給できる施設整備を推進しました。今後も新設、改良工事を行い、災害などの緊急時に対応できるよう耐震化整備を推進し、水道の安全・強靱・持続を図ります。

| 区分 | 平成30年度 |
|-------|-------------------|
| 工事 | 国庫補助事業5工区、単独事業6工区 |
| 配水管延長 | 11,035m |
| 総工費 | 618,526,400円 |

●財務状況

収益的収支については、収支差引 152,269,203円の純利益となりました。一方、資本的収支については収支差引が-743,970,757円(資本的支出のうち、4,317,000円は賞与引当金計上によるものであるため減額する)となり、不足分については、当年度分損益勘定留保資金などで補てんしました。

収益的収支 (単位:円)

| 区分 | 平成30年度 |
|-----------|---------------|
| 水道事業収益 | 3,307,326,487 |
| 水道事業費用 | 3,155,057,284 |
| 収支差引(純利益) | 152,269,203 |

資本的収支 (単位:円)

| 区分 | 平成30年度 |
|-----------|--------------|
| 資本的収入 | 179,693,750 |
| 資本的支出 | 923,664,507 |
| 収支差引(不足額) | -743,970,757 |

補てん財源内訳 (単位:円)

| 区分 | 平成30年度 |
|-----------------|-------------|
| 減債積立金 | 82,795,179 |
| 建設改良積立金 | 277,219,883 |
| 当年度分消費税資本的収支調整額 | 55,058,734 |
| 過年度分損益勘定留保資金 | 0 |
| 当年度分損益勘定留保資金 | 328,896,961 |
| 合計 | 743,970,757 |

※資本的支出のうち、4,317,000円は賞与引当金計上によるものであるため減額する。

●その他

沖縄市水道通水60周年記念表彰式及び懇親会

沖縄市水道通水60周年記念表彰式及び懇親会が、平成31年1月16日(水)に沖縄市水道局にて開催した。表彰式では、功労表彰者(2名)、特別表彰者(8名)、個人表彰者(1名)の計11名のみなさんに表彰状が贈られました。

引き続き行われた懇親会では、水道OB・関係者の方々からの思い出話や、今後の水道事業への思い等も聞くことができ、終始和気あいあいとした雰囲気での閉会しました。



平成30年度中部圏域水道事業体合同訓練

平成30年11月13日に、沖縄こどもの国公園駐車場にて平成30年度中部圏域水道事業体合同訓練が行われました。

午前中は、沖縄県太平洋近海にて地震が発生したと想定し、電話等で情報伝達訓練を行いました。午後は、各自治体が保有している応急給水車に企業局調整地より給水を受け、沖縄こどもの国まで運送し、給水袋へ注水する応急給水訓練を行いました。

各自治体で種類の違う給水タンクや給水袋があり、参加者は、設置方法や使い方について熱心に意見を交換していました。



1-3. 水道事業の推移

| 区分 | 単位 | 昭和49年度 | 平成6年度 | 平成7年度 | 平成8年度 | 平成9年度 | 平成10年度 |
|------------|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 行政人口 | 人 | 95,492 | 115,066 | 116,512 | 117,828 | 118,978 | 120,798 |
| 行政区域内人口 | 人 | 95,492 | 116,205 | 117,645 | 118,733 | 119,926 | 121,876 |
| 行政区域内世帯数 | 戸 | 24,115 | 37,585 | 38,353 | 39,153 | 40,223 | 41,426 |
| 給水人口 | 人 | 89,514 | 116,205 | 117,645 | 118,733 | 119,926 | 121,876 |
| 給水戸数 | 戸 | | 37,585 | 38,353 | 39,153 | 40,223 | 41,426 |
| 普及率 | % | 93.74 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 |
| 給水柱数 | 柱 | 21,826 | 34,717 | 35,310 | 35,825 | 36,317 | 36,776 |
| 年間給水量 | m ³ | 10,685,460 | 18,720,109 | 18,871,424 | 18,398,452 | 18,672,789 | 19,475,469 |
| | | 10,295,669 | 14,973,496 | 15,041,934 | 15,263,575 | 15,344,146 | 15,798,362 |
| 一日最大給水量 | m ³ | 31,527 | 53,229 | 56,217 | 52,962 | 53,813 | 55,756 |
| 一日平均給水量 | m ³ | 29,275 | 51,288 | 51,561 | 50,407 | 51,158 | 53,357 |
| 一人一日最大給水量 | ℓ | 338 | 386 | 375 | 375 | 380 | 385 |
| 一人一日平均給水量 | ℓ | 315 | 353 | 349 | 352 | 351 | 355 |
| 年間有収水量 | m ³ | 8,143,584 | 17,514,882 | 17,773,520 | 17,301,143 | 17,515,399 | 18,153,530 |
| | | 7,753,793 | 13,749,269 | 13,944,030 | 14,166,266 | 14,186,756 | 14,476,423 |
| 有収率 | % | 76.21 | 93.56 | 94.18 | 94.04 | 93.80 | 93.21 |
| 一日最大有収水量 | m ³ | 25,020 | 56,449 | 60,338 | 57,665 | 53,391 | 52,771 |
| 一日平均有収水量 | m ³ | 22,311 | 47,986 | 48,562 | 47,400 | 47,987 | 49,736 |
| 一人一日最大有収水量 | ℓ | 269 | 385 | 418 | 406 | 357 | 350 |
| 一人一日平均有収水量 | ℓ | 237 | 324 | 324 | 327 | 324 | 325 |
| 年間有効水量 | m ³ | 8,145,399 | 17,957,006 | 18,220,487 | 17,745,692 | 17,958,114 | 18,607,917 |
| 有効率 | % | 76.23 | 95.92 | 96.55 | 96.45 | 96.17 | 95.55 |
| 一日配水能力 | m ³ | 52,828 | 66,663 | 68,064 | 68,180 | 68,203 | 68,203 |
| 送・配水管総延長 | m | 166,777.46 | 442,969.55 | 461,723.68 | 470,884.98 | 476,627.15 | 502,139.70 |
| 配水管総延長 | m | 166,777.46 | 438,699.05 | 454,839.18 | 464,000.48 | 468,307.65 | 493,166.20 |
| 送水管総延長 | m | 0.00 | 4,270.50 | 6,884.50 | 6,884.50 | 8,319.50 | 8,973.50 |
| 消火栓総基数 | 基 | 416 | 773 | 761 | 764 | 762 | 761 |
| 職員数 | 人 | 77 | 71 | 70 | 65 | 65 | 65 |

| 区分 | 単位 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 |
|------------|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 行政人口 | 人 | 133,762 | 134,555 | 135,363 | 136,330 | 137,167 | 137,483 |
| 行政区域内人口 | 人 | 134,932 | 135,746 | 136,560 | 137,587 | 138,362 | 138,663 |
| 行政区域内世帯数 | 戸 | 52,136 | 52,959 | 53,865 | 54,936 | 55,391 | 56,115 |
| 給水人口 | 人 | 134,932 | 135,746 | 136,560 | 137,587 | 138,362 | 138,663 |
| 給水戸数 | 戸 | 52,136 | 52,959 | 53,865 | 54,936 | 55,391 | 56,115 |
| 普及率 | % | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 |
| 給水柱数 | 柱 | 41,401 | 41,859 | 42,260 | 42,925 | 43,410 | 44,043 |
| 年間給水量 | m ³ | 18,278,935 | 18,559,078 | 18,456,998 | 18,332,146 | 18,387,761 | 18,557,247 |
| | | 15,515,702 | 15,507,053 | 15,316,379 | 15,403,699 | 15,334,311 | 15,466,400 |
| 一日最大給水量 | m ³ | 55,794 | 55,919 | 55,457 | 68,407 | 62,835 | 59,972 |
| 一日平均給水量 | m ³ | 50,079 | 50,847 | 50,567 | 50,088 | 50,377 | 50,842 |
| 一人一日最大給水量 | ℓ | 413 | 411 | 406 | 497 | 454 | 432 |
| 一人一日平均給水量 | ℓ | 315 | 313 | 307 | 306 | 304 | 306 |
| 年間有収水量 | m ³ | 17,612,557 | 17,889,933 | 17,989,215 | 17,872,246 | 17,897,047 | 17,889,350 |
| | | 14,849,324 | 14,837,908 | 14,848,596 | 14,943,799 | 14,843,597 | 14,798,503 |
| 有収率 | % | 96.35 | 96.39 | 97.47 | 97.50 | 97.33 | 96.40 |
| 一日最大有収水量 | m ³ | 51,421 | 52,366 | 51,644 | 51,217 | 52,938 | 52,171 |
| 一日平均有収水量 | m ³ | 48,254 | 49,014 | 49,286 | 48,831 | 49,033 | 49,012 |
| 一人一日最大有収水量 | ℓ | 326 | 319 | 318 | 315 | 317 | 312 |
| 一人一日平均有収水量 | ℓ | 302 | 299 | 298 | 297 | 294 | 292 |
| 年間有効水量 | m ³ | 17,785,731 | 18,059,947 | 18,160,567 | 18,049,127 | 18,078,360 | 18,080,727 |
| 有効率 | % | 97.30 | 97.31 | 98.39 | 98.46 | 98.32 | 97.43 |
| 一日配水能力 | m ³ | 63,400 | 63,900 | 66,300 | 68,407 | 68,407 | 68,407 |
| 送・配水管総延長 | m | 547,690.40 | 550,819.61 | 552,112.26 | 555,636.14 | 558,198.29 | 563,388.63 |
| 配水管総延長 | m | 537,566.40 | 540,695.61 | 540,983.26 | 545,512.14 | 548,074.29 | 553,264.63 |
| 送水管総延長 | m | 10,124.00 | 10,124.00 | 11,129.00 | 10,124.00 | 10,124.00 | 10,124.00 |
| 消火栓総基数 | 基 | 875 | 884 | 891 | 900 | 908 | 913 |
| 職員数 | 人 | 53 | 54 | 52 | 53 | 52 | 52 |

| 平成11年度 | 平成12年度 | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 122,356 | 124,255 | 125,762 | 127,183 | 128,635 | 130,117 | 131,292 | 132,264 | 133,096 |
| 123,423 | 125,382 | 126,906 | 128,392 | 129,865 | 131,394 | 132,511 | 133,451 | 134,256 |
| 42,623 | 43,904 | 45,085 | 46,101 | 47,190 | 48,415 | 49,393 | 50,330 | 51,289 |
| 123,423 | 125,382 | 126,906 | 128,392 | 129,865 | 131,394 | 132,511 | 133,451 | 134,256 |
| 42,623 | 43,904 | 45,085 | 46,101 | 47,190 | 48,415 | 49,393 | 50,330 | 51,289 |
| 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 |
| 37,265 | 37,604 | 38,141 | 38,678 | 39,498 | 39,868 | 40,466 | 40,857 | 41,185 |
| 19,000,704 | 18,967,132 | 18,909,875 | 18,384,854 | 18,665,567 | 17,794,303 | 18,022,812 | 18,823,312 | 18,848,154 |
| 15,760,856 | 15,751,343 | 15,710,277 | 15,238,776 | 15,474,039 | 14,880,833 | 15,252,165 | 15,659,596 | 15,506,242 |
| 53,904 | 53,305 | 53,886 | 52,098 | 53,747 | 50,495 | 52,410 | 54,198 | 55,199 |
| 51,773 | 51,965 | 51,666 | 50,369 | 50,722 | 48,752 | 49,378 | 51,712 | 51,498 |
| 368 | 360 | 358 | 340 | 347 | 326 | 337 | 348 | 411 |
| 349 | 344 | 338 | 325 | 324 | 310 | 315 | 322 | 316 |
| 17,964,116 | 17,909,801 | 17,947,426 | 17,737,298 | 18,007,137 | 17,453,037 | 17,651,307 | 18,162,407 | 18,386,106 |
| 14,724,268 | 14,694,012 | 14,747,828 | 14,591,227 | 14,815,616 | 14,539,574 | 14,880,667 | 14,998,693 | 15,044,194 |
| 94.54 | 94.43 | 94.91 | 96.48 | 96.47 | 98.08 | 97.94 | 96.49 | 97.55 |
| 51,776 | 51,627 | 52,145 | 52,288 | 52,171 | 51,210 | 51,917 | 53,795 | 52,302 |
| 49,082 | 49,068 | 49,171 | 48,595 | 49,200 | 47,817 | 48,360 | 49,760 | 50,235 |
| 346 | 349 | 352 | 344 | 336 | 324 | 332 | 335 | 328 |
| 326 | 321 | 318 | 311 | 312 | 303 | 308 | 308 | 306 |
| 18,437,110 | 18,373,910 | 18,425,112 | 18,197,850 | 18,477,479 | 17,612,713 | 17,816,549 | 18,328,675 | 18,554,442 |
| 97.03 | 96.87 | 97.44 | 98.98 | 98.99 | 98.98 | 98.86 | 97.37 | 98.44 |
| 68,204 | 61,800 | 62,400 | 62,900 | 63,500 | 64,000 | 64,500 | 62,300 | 62,900 |
| 507,128.26 | 515,495.42 | 524,700.47 | 523,401.35 | 529,832.41 | 535,135.33 | 539,266.18 | 541,254.80 | 545,017.40 |
| 498,154.76 | 506,776.42 | 515,981.47 | 514,682.35 | 521,105.41 | 526,401.33 | 530,532.18 | 532,363.80 | 534,893.40 |
| 8,973.50 | 8,719.00 | 8,719.00 | 8,719.00 | 8,727.00 | 8,734.00 | 8,734.00 | 8,891.00 | 10,124.00 |
| 741 | 753 | 769 | 776 | 777 | 813 | 834 | 850 | 850 |
| 64 | 65 | 63 | 61 | 61 | 60 | 59 | 57 | 55 |

| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|------------|------------|------------|------------|------------|
| 138,126 | 139,544 | 140,127 | 140,027 | 140,352 |
| 139,310 | 140,816 | 141,543 | 141,540 | 142,027 |
| 58,030 | 59,603 | 60,780 | 61,730 | 62,367 |
| 139,310 | 140,816 | 141,543 | 141,540 | 142,027 |
| 58,030 | 59,603 | 60,780 | 61,730 | 62,367 |
| 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 |
| 44,908 | 45,774 | 46,478 | 47,414 | 48,317 |
| 18,368,468 | 18,788,933 | 18,246,942 | 17,904,156 | 17,872,886 |
| 15,260,865 | 15,431,604 | 15,449,203 | 15,746,526 | 15,648,811 |
| 62,974 | 61,351 | 61,127 | 58,438 | 58,227 |
| 50,325 | 51,336 | 49,992 | 49,052 | 48,967 |
| 452 | 435 | 431 | 412 | 409 |
| 300 | 299 | 299 | 305 | 302 |
| 17,735,600 | 18,102,540 | 17,594,557 | 16,944,033 | 16,878,637 |
| 14,627,997 | 14,745,211 | 14,796,818 | 14,786,403 | 14,654,562 |
| 96.55 | 96.35 | 96.42 | 94.64 | 94.44 |
| 52,613 | 51,493 | 51,376 | 50,203 | 50,133 |
| 48,591 | 49,460 | 48,204 | 46,422 | 46,243 |
| 311 | 297 | 311 | 309 | 309 |
| 288 | 286 | 286 | 286 | 283 |
| 17,897,817 | 18,259,283 | 17,745,813 | 17,099,489 | 17,034,633 |
| 97.44 | 97.18 | 97.25 | 95.51 | 95.31 |
| 68,407 | 68,407 | 68,407 | 68,407 | 68,407 |
| 565,386.63 | 569,363.43 | 570,804.34 | 572,624.66 | 576,269.81 |
| 555,262.63 | 559,239.43 | 560,680.34 | 562,500.66 | 566,145.81 |
| 10,124.00 | 10,124.00 | 10,124.00 | 10,124.00 | 10,124.00 |
| 915 | 921 | 929 | 930 | 939 |
| 50 | 51 | 49 | 50 | 50 |

[注意事項]

- ①水色枠の数字は民間地域のみでの使用量である。
- ②行政区域内人口は、昭和50年度から平成3年度まで行政人口＋外国人推計人口、平成4年度以降は行政人口＋外国人登録人口で算出。
- ③1日あたりの水量は暦日数で除して算出した。
- ④一日最大給水量は、平成18年度までは嘉手納基地水量を按分後の月別配水量を受水日数で除した最大値
平成19年度からは計装システムで計測された実測最大値から嘉手納基地水量を按分した値、平成23年度からは、計装システムで計測された実測値（嘉手納基地水量は按分しない）
- ⑤平成21年度から職員数は、水道事業管理者（特別職）を除く。
- ⑥一日配水能力は、平成22年度までは予測値、平成23年度からは過去の一日最大給水量最大値とする。

1-4. 水道料金・加入金の変遷

| 実施 | 種別 | 用途別 | 口径別 | 基本水量 | 料金 | 従量料金(1m ³ につき) | 県企業局料金改定 | | |
|-----------------------------------|---|---|----------------------|---------------------------|----------------------|---|---|----------------------|---------------------|
| 昭和49年 4月1日 | | 家事用 | | 8m ³ まで | 340円 | 100m ³ まで62円、200m ³ まで53円、300m ³ まで43円、 301m ³ 以上40円 | 昭和47年5月 @17.84円 | | |
| | | 営業用 | | 8m ³ まで | 480円 | | | | |
| | | 公衆浴場用 | | 100m ³ まで | 2,470円 | | | 40円 | |
| | | 官公署用 | | 8m ³ まで | 340円 | | | 40円 | |
| | | 学校用 | | 0.12m ³ ×職員児童数 | 基本水量×25円 | | | 40円 | |
| | | 慈善用 | | 1m ³ につき | 25円 | | | | |
| | | 臨時給水用 | | 1m ³ につき | 77円 | | | | |
| | | 量水器使用料 | | 1個1カ月につき | 60円 | | | | |
| 昭和50年 7月9日 平均値上率 86.25% | 専用栓給水装置 | 公一 衆浴場 用 | 13mm・16mm | 8m ³ まで | 540円 | 一般用8m ³ を超え20m ³ まで 20m ³ を超え100m ³ まで 100m ³ を超える分 公衆浴場用 | 昭和50年7月 @35.60円 値上率99.55% | | |
| | | | 20mm | 8m ³ まで | 770円 | | | | |
| | | | 25mm・30mm | 8m ³ まで | 940円 | | | | |
| | | | 40mm | 8m ³ まで | 1,850円 | | | | |
| | | | 50mm・75mm | 8m ³ まで | 2,505円 | | | | |
| | | | 100mm以上 | 8m ³ まで | 9,505円 | | | | |
| | 臨時用 | | 1m ³ につき | 140円 | | | | | |
| | 私設消火栓 | 演習用 | | 1個1回10分間ごとに | 1,000円 | | | | |
| | 加入金 | | 13mm・16mm 12,000円 | 20mm 31,000円 | 25mm・30mm 50,000円 | 40mm 152,000円 | 50mm 225,000円 | 75mm以上 管理者が別に定める額 | |
| | ※量水器使用料廃止 | | | | | | | | |
| 昭和53年 1月25日 平均値上率 41.35% | 専用栓給水装置 | 公一 衆浴場 用 | 13mm・16mm | 8m ³ まで | 640円 | 一般用8m ³ を超え20m ³ まで 20m ³ を超え50m ³ まで 50m ³ を超え100m ³ まで 100m ³ を超え500m ³ まで 500m ³ を超える分 公衆浴場用 | 昭和53年1月 @59.72円 値上率67.75% | | |
| | | | 20mm | 8m ³ まで | 980円 | | | | |
| | | | 25mm・30mm | 8m ³ まで | 1,200円 | | | | |
| | | | 40mm | 8m ³ まで | 2,700円 | | | | |
| | | | 50mm・75mm | 8m ³ まで | 4,600円 | | | | |
| | | | 100mm以上 | 8m ³ まで | 15,000円 | | | | |
| | 臨時用 | | 1m ³ につき | 200円 | | | | | |
| 私設消火栓 | 演習用 | | 1個1回20分以内につき | 1,500円 | | | | | |
| 昭和56年 9月26日 平均値上率 20.09% | 専用栓給水装置 | 公一 衆浴場 用 | 13mm・16mm | 8m ³ まで | 690円 | 一般用8m ³ を超え20m ³ まで 20m ³ を超え50m ³ まで 50m ³ を超え100m ³ まで 100m ³ を超え500m ³ まで 500m ³ を超える分 公衆浴場用 | 昭和56年9月 @78.92円 値上率32.15% | | |
| | | | 20mm | 8m ³ まで | 990円 | | | | |
| | | | 25mm・30mm | 8m ³ まで | 1,250円 | | | | |
| | | | 40mm | 8m ³ まで | 2,700円 | | | | |
| | | | 50mm・75mm | 8m ³ まで | 4,600円 | | | | |
| | | | 100mm以上 | 8m ³ まで | 15,000円 | | | | |
| 臨時用 | | 1m ³ につき | 250円 | | | | | | |
| 私設消火栓 | 演習用 | | 1個1回20分以内につき | 1,500円 | | | | | |
| 昭和61年 3月11日 | 加入金 | | 13mm・16mm 12,000円 | 20mm 31,000円 | 25mm・30mm 50,000円 | 40mm 152,000円 | 50mm 225,000円 | 75mm 600,000円 | 100mm 1,020,000円 |
| 昭和61年 6月19日 | 連合専用給水装置 | 使用水量を各戸(世帯)が均等に使用したものとみなし、戸(世帯)別に専用栓給水装置・一般用の口径13ミリメートルの料金を適用して算出した料金 | | | | | | | |
| 平成5年 6月1日 平均値上率 39.45% | 専用栓給水装置 | 一般用 | 13mm | 8m ³ まで | 865円 | 0m ³ を超え8m ³ まで (口径40mm以上に適用) | 平成5年6月 @102.24円 (税抜) 値上率29.56% | | |
| | | | 20mm | 8m ³ まで | 1,215円 | | | | |
| | | | 25mm | 8m ³ まで | 1,555円 | | | | |
| | | | 40mm | 基本水量なし | 3,065円 | | | | |
| | | | 50mm | 基本水量なし | 5,320円 | | | | |
| | | | 75mm | 基本水量なし | 11,320円 | | | | |
| | | | 100mm | 基本水量なし | 18,810円 | | | | |
| | | | 150mm以上 | 基本水量なし | 51,950円 | | | | |
| | 公衆浴場用 | | 基本料金は一般用のメーター口径に準ずる | | 1m ³ につき | 110円 | | | |
| | 船舶・臨時用 | | | | 1m ³ につき | 350円 | | | |
| 連合専用給水装置 | 一戸(世帯)につき基本料金は設置メーターまたは引き込み管口径による口径別料金を適用する。この場合の料金算定の基礎となる使用水量は、各戸均等に使用したものとす。 | | | | | | | | |
| 集中検針用 | 一般用適用 | | | | | | | | |

| 実施 | 種別 | 用途別 | 口径別 | | | 料金 | | | | 従量料金(1m ³ につき) | 県企業局 料金改定 |
|---------------------------------|-----------------|---|------------|---------------------|----------|--|----------|---------------------|-------|---------------------------|--------------|
| | | | 13mm | 20mm | 25mm | 40mm | 50mm | 75mm | 100mm | | |
| 平成26年 4月1日 | 加入金 | 13mm | 20mm | 25mm | 40mm | 50mm | 75mm | 100mm | | | |
| | | 11,500円 | 29,500円 | 47,500円 | 146,500円 | 218,000円 | 583,000円 | 991,000円 | | | |
| | | 150mm | 200mm以上 | | | | | | | | |
| | | 2,170,000円 | 管理者が別に定める額 | | | | | | | | |
| 平成26年 5月1日 平均値下率 2.59% | 専用 栓給水 装置 | 一般 用 | 13mm | 8m ³ まで | 830円 | 0m ³ を超え8m ³ まで (口径40mm以上に適用) | | 130円 | | | |
| | | | 20mm | 8m ³ まで | 1,170円 | | | | | | |
| | | | 25mm | 8m ³ まで | 1,500円 | 8m ³ を超え20m ³ まで | 145円 | | | | |
| | | | 40mm | 基本水量なし | 2,970円 | 20m ³ を超え50m ³ まで | 172円 | | | | |
| | | | 50mm | 基本水量なし | 5,160円 | 50m ³ を超え100m ³ まで | 194円 | | | | |
| | | | 75mm | 基本水量なし | 10,980円 | 100m ³ を超え300m ³ まで | 228円 | | | | |
| | | | 100mm | 基本水量なし | 18,240円 | 300m ³ を超える分 | 283円 | | | | |
| | | | 150mm以上 | 基本水量なし | 51,950円 | | | | | | |
| | | 公衆浴場用 | | 基本料金は一般用のメーター口径に準ずる | | | | 1m ³ につき | 100円 | | |
| | | 船舶・臨時用 | | | | | | 1m ³ につき | 350円 | | |
| | 連合専用給水装置 | 一戸(世帯)につき基本料金は設置メーターまたは引き込み管口径による口径別料金を適用する。この場合の料金算定の基礎となる使用水量は、各戸均等に使用したものとす。 | | | | | | | | | |
| | 集中検針用 | 一般用適用 | | | | | | | | | |

消費税導入(平成元年5月1日)により、水道料金及び加入金は現行料金表に100分の103を乗じて得た額とする。1円未満の端数が生じた場合は切り捨てるものとする。
平成3年4月1日より消費税は一旦廃止。
平成7年4月1日より再び消費税導入、水道料金及び加入金は現行料金表に100分の103を乗じて得た額とする。
消費税法改定に伴い平成9年4月1日より水道料金及び加入金は現行料金表に100分の105を乗じて得た額とする。なお1円未満の端数が生じた場合は切り捨てるものとする。
消費税法改定に伴い平成26年4月1日より加入金、平成26年5月1日より水道料金にそれぞれ現行料金表に100分の108を乗じて得た額とする。なお1円未満の端数が生じた場合は切り捨てるものとする。

